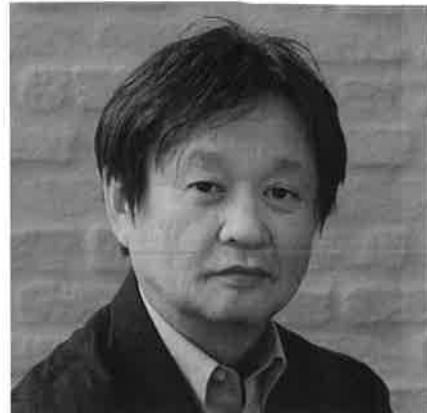


金沢・現代会議

- 現代に生きる・現代を生きる -

鈴木大拙が生まれ 鈴木大拙館が建ち 大拙を育んだ文化が今なお息づく ここ金沢で
多様な分野の識者が 現代に生きる人の生き方について大拙の眼差しのもと語り合う

鈴木大拙館
開館5周年記念テーマ 「世界人としての日本人」



■ 講 演 ※講演順

深澤直人氏 プロダクトデザイナー、日本民藝館館長
「はりの理論」

寺島実郎氏 (一財)日本総合研究所会長、多摩大学学長
「現代を生きる鈴木大拙」

■ パネルディスカッション

"The world is my home (世界は我が家)"
鈴木大拙

ピーター・グリーリ氏 ボストン日本協会特別顧問

浅見 洋氏 石川県立看護大学教授・学長補佐
石川県西田幾多郎記念哲学館館長

岡村美穂子氏 鈴木大拙元秘書
鈴木大拙館名誉館長

深澤直人氏、寺島実郎氏

コーディネーター 木村宣彰氏 大谷大学元学長・名誉教授
鈴木大拙館館長



平成28年 11月17日㈭ 金沢市文化ホール

金沢市高岡町
15番1号

入場無料 / 要事前お申し込み / 全席自由

18:30開演(18:00開場 / 21:00閉会予定)

【主催】金沢市／鈴木大拙館 【後援】北國新聞社

出演者プロフィール

深澤直人 (ふかさわ ひとと)

1956年、山梨県生まれ。プロダクトデザイナー。1989年渡米、IDEO入社。1996年よりIDEO東京支社長。2003年独立しNaoto Fukasawa Design 設立。卓越した造形美とシンプルに徹したデザインで、欧米、アジア世界を代表するブランドのデザインを手がける一方、日本国内における主幹産業や大手企業の為のデザイン戦略、ブランド構築、コンサルティング、デザイン開発を多数手がけ、事業を成功に導いている。電子精密機器から家具・インテリア、デザインコンサルティングに至るまでデザインの領域は幅広く多岐に渡る。21_21Design Sight ディレクター。良品計画デザインアドバイザリーボード。マルニ木工アートディレクター。多摩美術大学統合デザイン学科教授。2006年Jasper Morrisonと共に「Super Normal」設立。2012年7月より日本民藝館五代目館長。著書には「デザインの輪郭」(TOTO出版)、共著書「デザインの生態学—新しいデザインの教科書」(東京書籍)、共著書「デザインの原形」(六耀社)、作品集「NAOTO FUKASAWA」(Phaidon)がある。2008年には「THE OUTLINE 見えていない輪郭」写真家藤井 保氏との展覧会を開催、同タイトル書籍を出版(アセット婦人画報社)。

寺島実郎 (てらしま じつろう)

1947年、北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、三井物産に入社。調査部・業務部を経て、ブルッキングス研究所(在ワシントンDC)に出向。米国三井物産ワシントン事務所長、三井物産戦略研究所所長、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授、三井物産常務執行役員等を歴任し、現在は(一財)日本総合研究所会長、多摩大学学長、(株)三井物産戦略研究所会長。著書に『寺島実郎 中東・エネルギー・地政学』(東洋経済新報社)、『脳力のレッスン』(I・II・III、岩波書店)、『20世紀と格闘した先人たち』(新潮社)など多数。

ピーター・グリーリー

1942年、米国生まれ。幼少期を日本で過ごす。ハーバード大学で東アジア学の学士号・修士号を取得。早稲田大学、東京大学でも学ぶ。ニューヨーク日本協会や米のテレビ局に勤務。1996年から2000年までコロンビア大学ナルド・キーン日本文化センター所長。2000年、米国に40以上ある日本協会の中で一番長い歴史を持つボストン日本協会から招かれ、2013年までボストン日本協会理事長を務め、現在、同協会特別顧問。2003年、日米文化交流に関する長年の功績により日本政府から勲三等瑞宝章を受章。2009年、重光葵賞受賞。日本史、日本文化の専門家として歌舞伎、能、映画など米国における日本文化の発信に寄与。日本文化等に関する著書やドキュメンタリー映画が多数ある。

浅見洋 (あさみ ひろし)

1951年、石川県能登町(旧柳田村)生まれ。1977年金沢大学大学院文学研究科哲学専攻修了、博士(文学、筑波大学)。専攻は宗教哲学、日本哲学、生死学。2000年より石川県立看護大学教授、現在、学長補佐と石川県西田幾多郎記念哲学館館長を兼任するとともに、日本宗教学会、西田哲学会、北陸宗教文化学会、日本アンドオブライフケア学会の理事。東京大学大学院教育学研究科連携・併任教授、ライブチヒ大学東アジア研究所日本学客員教授、鈴木大拙館(仮称)整備検討懇話会座長、西田哲学館運営準備委員会委員長等を歴任。著書に『西田幾多郎とキリスト教の対話』、『二人称の死—西田・大拙・西谷の思想をめぐって』、『西田幾多郎—生命と宗教に深まりゆく思索』、『思想のレクイエム—加賀・能登が生んだ哲学者15人の軌跡』、『未完の女性哲学者 高橋ふみ』など。その他、金沢市が刊行した中学生向けの「郷土の思想家シリーズ」①『西田幾多郎寸心の思想』、②『鈴木大拙 鈴木大拙の言葉』を監修した。

岡村美穂子 (おかむら みほこ)

1935年、米国ロサンゼルス生まれ。1951年、鈴木大拙と出会い、1966年の御逝去まで師事するとともに秘書を務める。ハンター・カレッジとコロンビア大学に学ぶ。1969年から1998年まで『ザ・イースタン・ブディスト』編集員。1975年から1981年まで、国際交流基金役員秘書室主任。1992年から2006年まで、大谷大学非常勤講師。現在、日本民藝館評議員、鈴木大拙館名譽館長。

木村宣彰 (きむら せんしょう)

1943年、富山県城端町(現南砺市)生まれ。大谷大学大学院文学研究科博士課程修了。専攻は仏教学、著書に『中国仏教思想史研究』、『五濁の時代に』など。大谷大学図書館長、文学部長を経て2004年4月から2010年3月まで大谷大学・大谷大学短期大学部の学長を務める。現在は、大谷大学名誉教授のほか、2013年4月より鈴木大拙館館長。



鈴木大拙館は、金沢が生んだ佛教哲学者・鈴木大拙の考え方や足跡を広く国内外の人々に伝えることにより、大拙についての理解を深めるとともに、来館者自らが思索する場として利用することを目的に、国際的な建築家・谷口吉生氏の設計のもと、2011年10月18日に開館しました。



鈴木大拙館

D.T. SUZUKI MUSEUM

所在地: 石川県金沢市本多町3-4-20

<http://www.kanazawa-museum.jp/daisetz>

■お申し込み方法

- 往復ハガキ又はメールにより申込。申込は、どちらかの方法で1人1通まで。(重複申込無効)
- 参加希望の方の住所、氏名、電話番号(2名まで記載可)【往復ハガキの場合は、返信用の住所、氏名】をご記入のうえ、**11月4日(金)【当日必着】**までにお申ください。

(注1)応募多数の場合は抽選とし、結果は11月10日(木)までにお知らせします。

(注2)転売等、営利目的の申込は固くお断りいたします。

(注3)応募者の個人情報は、この催しの運営目的のみに使用し、主催者が安全に管理し保護を徹底します。

メールアドレスQRコード



■お申し込み

- 往復ハガキ : ☎920-8577 金沢市広坂1-1-1 金沢市文化政策課「金沢・現代会議」係
- メール : gendai@city.kanazawa.ishikawa.jp ※お申込み専用

■お問い合わせ先 金沢市文化政策課 TEL 076-220-2442(平日9:00~17:45)

